

「西浦学園」開校

令和8年4月、西浦地区に市内初の義務教育学校「西浦学園」が開校しました。
今号では、西浦学園の特色やその施設について紹介します。

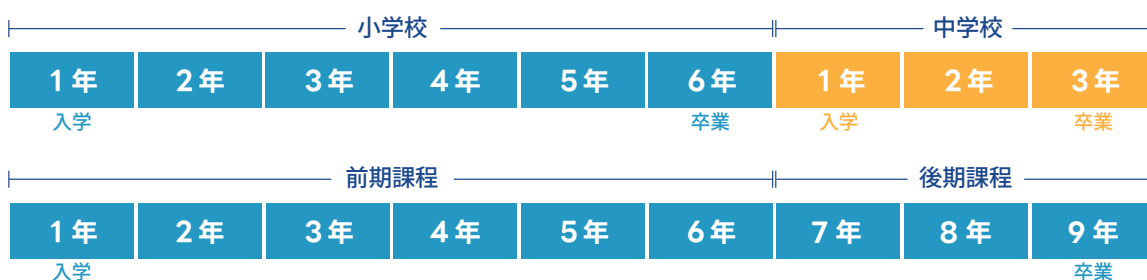


市内初の義務教育学校

本市では、少子化が進む中で教育環境の維持・向上をいくため、令和3年に小中学校規模適正化方針を策定し、学校規模の適正化や教育環境の充実に向けた検討を進めてきました。その取り組みの1つとして、西浦小と西浦中を統合した、義務教育学校「西浦学園」が4月に誕生しました。

義務教育学校とは

義務教育学校では、小学校の6年間と中学校の3年間、合計9年間で1つの学校として、一貫した教育を行います。子どもたちの成長に合わせた継続的な指導ができるほか、9学年が同じ施設で学校生活を送ることにより、他学年との交流や小中学校の連携を深められることが特徴です。西浦学園は、県内では、飛島村立飛島学園、西尾市立佐久島しおさい学校に続く、3校目の義務教育学校となります。



こうなる!